

日	曜	教 室・行 事 等	～毎月10日は人権を考える日～
2	水	フォークダンス (10:00～12:00) クラフト手芸 (13:00～15:00)	令和6年度 人権問題に関する市民意識調査報告から (その3) <u>部落問題(同和問題)を解決するために</u>
4	金	健康体操 (13:30～15:30) 南子ども会 (19:00～20:30)	
5	土	人権啓発リーダー育成講座(10:00～11:30)	(問26) 次の施策のうち、部落問題を解決するために、あなたが必要だと思うものを選んでください。
7	月	いきいき百歳体操 (10:00～11:00) 大町体操 (14:00～15:30)	
8	火	茶道 (13:30～15:30)	問26で、部落問題を解決するために必要だと思うことについて、「学校教育・社会教育を通じて、差別意識をなくし、人権を大切にする教育・啓発活動を積極的に行う」が最も多かった。差別解消のための方法は、やはり「教育」に期待するところが大きいと言える。
9	水	クラフト手芸 (13:00～15:00)	
11	金	健康体操 (13:30～15:30) 南子ども会 (19:00～20:30)	学校教育・社会教育においては、計画的に「部落問題学習」を行うことが大切ではないだろうか。わたしたちは、部落差別をはじめとする様々な差別・人権侵害が存在する社会で生きている。そのことは、「差別のある人間関係」にわれわれが取り込まれていることを意味しており、多くの場合、そのことを自覚できていない。したがって、きちんと「差別の現実」から「正しく」学び、展望をもって差別解消の「道筋」をみんなで考えることが必要である。
14	月	いきいき百歳体操 (10:00～11:00) 大町体操 (14:00～15:30)	
16	水	フォークダンス (10:00～12:00) クラフト手芸 (13:00～15:00) 健康相談 (13:30～15:30)	ただ、被差別当事者に差別の原因を押しつけたり(差別は「差別する側」の問題)、「普通の人とは違う」という考えを持たせてしまうなど、被差別の立場の人がいたたまれなくなるような学習は、「差別の現実を知る、知らせる」ということにとどまり、「差別の現実を通して自分や社会を問い直す」という学習に至っていないかったりということもある。
18	金	健康体操 (13:30～15:30) 南子ども会 (19:00～20:30)	
21	月	海の日 	差別からの解放をめざすには、自己を振り返ることで自らの差別性に気づき、これまでの生活を問い直す中で、「意識化(社会化のやり直し)」を継続的に実践していかなければならない。
22	火	茶道 (13:30～15:30)	
23	水	クラフト手芸 (13:00～15:00)	西条市人権教育協議会 西条市人権擁護課
25	金	健康体操 (13:30～15:30) 南子ども会 (19:00～20:30)	
28	月	大町体操 (14:00～15:30)	
【開館時間】 9:00 ～ 17:00 【休 館 日】 土曜日 日曜日 国民の祝日 年末年始(12/29～1/3)			

第303回 会館ミニ展示会

『 藤工芸作品展 』

【日 程】 7月14日(月)～31日(木)

【場 所】 大町会館1階廊下

【提 供】 藤工芸教室のみなさん

ここ大町会館(隣保館)は、人と出会い、交流、つながる場です。偏見や差別、排除のない多様な生き方やこれからの社会の在り方を語り合う場です。人と人がつながり合う社会に関心がある方、何かを始めたいと思っている方、お気軽にお立ち寄りください。ご心配事、悩み事など各種相談、お申込み・お問い合わせは、**西条市大町会館(☎0897-55-5393)**まで、お気軽にご相談ください。

大町会館だより7月号

2025(令和7)年7月 No.303

発行:西 条 市 大 町 会 館

〒793-0035 西条市福武甲 1644-1

TEL・FAX (0897) 55-5393

E-mail omachikaikan@saijo-city.jp

～大町会館設立50周年記念セレモニーを開催しました～

『トーク&トーク in 大町会館』

四国地方の梅雨入りが発表された6月8日(日)、今年度設立50周年を迎えた大町会館の記念セレモニーを開催しました。当地(大町地区)に竣工・設立されてから半世紀の歩みを辿ってきました。周年行事のメイン行事として年度早めの時期がよいのではという実行委員会の意向を受けて、例年6月からスタートする「人権啓発リーダー育成講座」の第1回と兼ねた記念セレモニーとなりました。



朝方のみ通り雨が降ったため、会館前駐車スペースの東西フェンスに張る予定でした紅白幕と会館子どもだんじりの来館者お迎え展示は、残念ながら中止としました。その後は私の予測通り明るい雲行きとなり、記念の集合写真撮影は会館をバックにして戸外で撮ることができました。

記念セレモニーには、来賓として市長、教育長、愛媛県人権対策協議会西条支部長様をお招きし、歴代の館長や指導員、運営協力委員会役員、そして今年度の運営協力委員の皆様、地域の方々等、総勢46名に出席を賜り、盛大に開催することができました。

セレモニーでは、50周年記念事業実行委員長の開会挨拶の後、来賓を代表して市長から挨拶をいただきました。つづいて、第1部として落語の独演会、人権に視点を当てた落語を、高座名 立の家 亀鶴(きかく)氏(本名 久保中 哲次さん:西条市地域包括支援センター西条南部所長)にご披露していただきました。演目は「光と陰」、実話を元にした在日朝鮮人の姉と若くして癌に苦しみながらも、これまでの自分の生き方を問いかけながら最期を迎える弟との掛け合いを演じていただきました。大学時代、落語研究会に所属し、経験豊富な話し手と演出の独特な雰囲気会場は包まれました。人権に関わる落語をという会館からの難しいお願いに快く引き受けて対応してくださった立の家 亀鶴さんには感謝の気持ちでいっぱいです。

「こんにちは、大町会館について教えてください😊」

～大町小学校2年生「校区たんけん」の学習で訪問・見学～

6月5日(木)、大町小学校の2年生32名が、生活科の「校区たんけん」の学習で大町会館にやって来ました。大町校区の自然や産業、文化財等を見学し、地域の方々と交流することを通して地域について学習するために大町会館に来てくれました。

今回の訪問・見学での2年生からの主な質問内容は次のとおりです。

- ①どんな仕事をしているのですか？ 何をするとおところですか？
- ②何人、働いてますか？ ③どうして大町会館ができたのですか？
- ④大町会館の自慢はありますか？ ⑤だれが、何をするとおところですか？
- ⑥どんな部屋がありますか？ ⑦どんな物がありますか？
- ⑧仕事をしていて、うれしいことは何ですか？

子どもならではの質問ですが、答える側はなかなか大変です。どのように答えれば理解してもらえるか思案のしどころです。子どもたちへの回答の前段として、「大町公民館と大町会館、漢字が少し違うけれど、どこが、何が違うの？ 似ているの？」と投げかけてみました。

大町会館は「隣保館」という公的な人権啓発施設であること、特に「人権と福祉」をキーワードとした地域の皆さんのコミュニティセンター(地域交流活動の拠点)であることを伝えました。大町会館へは初めて来たという子どもたちがほとんどでしたが、今回の訪問が2回目、3回目とつながる機会となればうれしいです。

「また来てね！」と見送りました。



続いて第2部「50年の歩みを語る ～トーク&トーク」では、設立当時からの50年の歩みとその時折の思い出やエピソード等を語っていただきました。

初めに、50年の歩みを当時から現在までの写真のスライドショーで振り返りました。懐かしく当時の様子が浮かんでくる場となりました。

次に、歴代の館長や指導員、各教室の代表等、7名の皆さんにそれぞれ大町会館の運営や活動にまつわるエピソードや印象深い出来事などをトーク(語って)いただきました。限られた時間ではありましたが、リレー形式で大切な思い出がつながっていきました。

この後、「私からの提言」というテーマで、大町会館(隣保館)に期待することや望むことを出席の皆さんより広く様々な角度や視点からご意見・ご提言をいただく予定でしたが、セレモニーの進行時間が押していたことで、大変残念ではありますがカットとなりました。

これからの大町会館(隣保館)の歩むべき方向性や持続可能な運営・活動につきまして、どうか皆さんからの声やご意見等をお聞かせください。よろしくお願いいたします。



実行委員会副委員長のあいさつで2階大会議室でのセレモニーは閉会し、その後曇り空の下、会館玄関前にて記念の集合写真を撮りました。このメンバーで、今日のこの時、ここ大町会館に集えたことと諸先輩の着実な歩みに感謝しながら、また新たな歩みを日々重ねていきたいと思ひます。



【第2回 人権啓発リーダー育成講座のご案内】

令和7年度 第2回人権啓発リーダー育成講座を下記の通り実施します。

【日 時】 7月5日(土) 10:00～11:30

【場 所】 大町会館2階 大会議室

【講 師】 ^{こうの}河野 ^{かつのり}克典 さん NPO 法人プロジェクト 2008 新理事長

【演 題】 『思いやりとやさしさで差別はなくなるのか』